



令和3年7月8日
第三管区海上保安本部
海の安全推進室

事故が多い季節がやってくる。夏の海に気をつけて！ 「夏の事故ゼロキャンペーン」が実施されます

夏休みを中心として、夏季には各種マリレジャー活動が活発化し、小型船舶の海難に加え、遊泳、SUP、ミニボート等の各種ウォーターアクティビティの事故が多発することから第三管区海上保安本部では、マリレジャーを安全に楽しんでもらうため、マリレジャーが活発となる期間（7月16日（金）～8月31日（火））を「海の安全運動夏の事故ゼロキャンペーン」とし、下記を重点事項として広く事故防止を呼びかけます。

船舶の事故ゼロを目指して

- 専門業者による定期的なメンテナンス
- 常時見張りの徹底
- 発航前の点検
- 無理のない航海計画の策定
- 最新情報の気象・海象情報の入手
- 故障に備え、救助支援者の確保

海浜事故ゼロを目指して

- 海水浴場内で遊泳する
- 飲酒後の遊泳は厳に慎む
- 釣り・スノーケルをするときはライフジャケットの常時着用
- 立入禁止場所へ侵入しない

近年の事故の傾向（過去4年）

- ・ 船舶及び人身事故ともに、8月が最も多く7月から増加傾向
- ・ 船舶事故は、プレジャーボートの事故が最も多く、その57%が運航不能
- ・ 人身事故は、遊泳中の事故が最も多く、その52%が溺水

事故防止のための注意点

【プレジャーボートの事故】

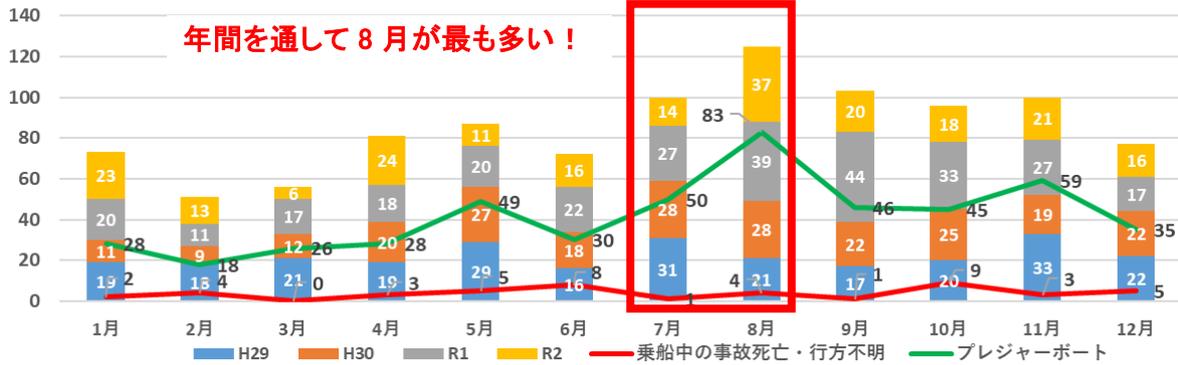
- ・ 運航不能の原因は点検不足です。エンジン・バッテリーや船体の点検を行ってから出港しましょう
- ・ 衝突を防止するため航行時は常時見張りを徹底しましょう

【遊泳中の事故】

- ・ 今年は、海水浴場が開設される場所と不開設となる場所があるため、事前に開設状況を確認しましょう
- ・ ライフセーバー等の監視員がいる海水浴場を利用しましょう
- ・ 遊泳区域以外で泳ぐと水上バイク等と接触する恐れがあります
- ・ 離岸流に乗ってしまったら慌てずに横（海岸と平行）に泳ぎましょう

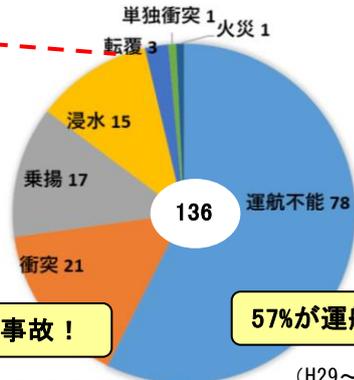
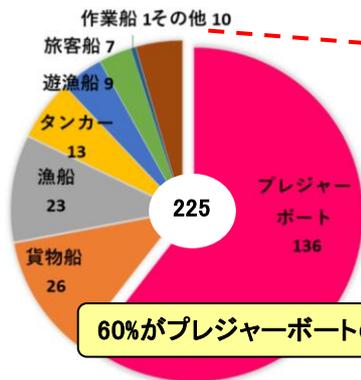
船舶事故発生状況

月別船舶事故発生状況(隻)



船舶種類別事故発生状況

プレジャーボート事故種類別発生状況

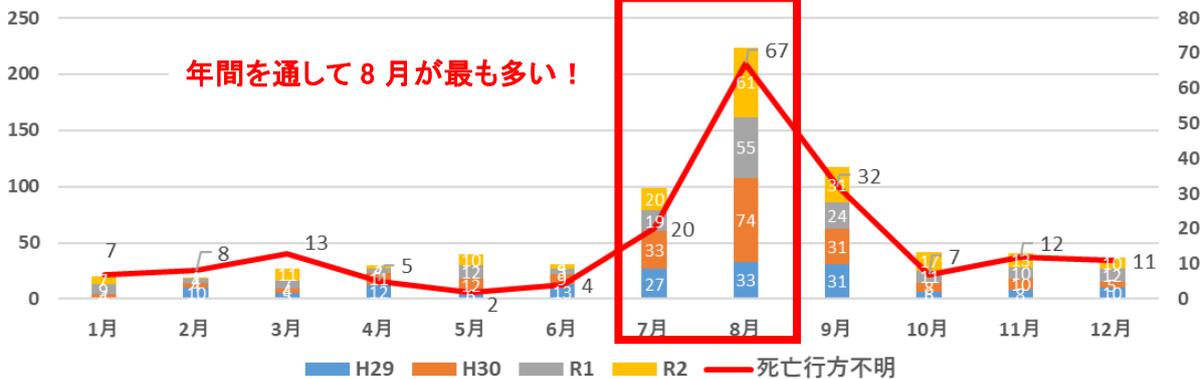


(H29~R2、7、8月の発生状況/隻)

航行不能：航行に必要な設備の故障、燃料等の欠乏等により、船舶の航行に支障が生じることをいう

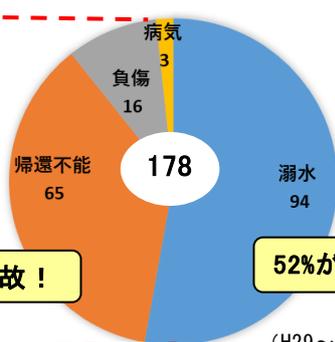
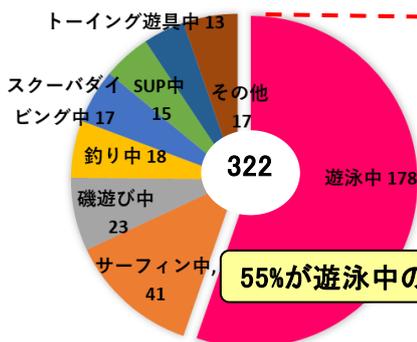
マリンレジャーに伴う人身事故発生状況

月別マリンレジャーに伴う人身事故発生状況(人)



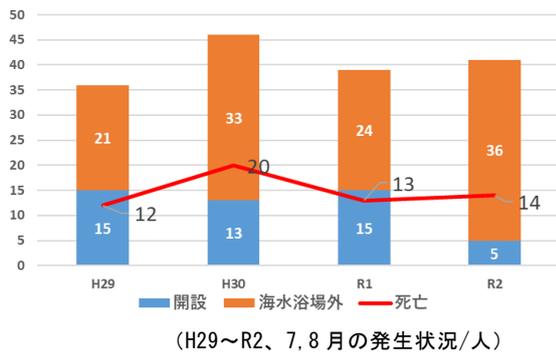
活動別人身事故発生状況

遊泳中の事故種類別発生状況

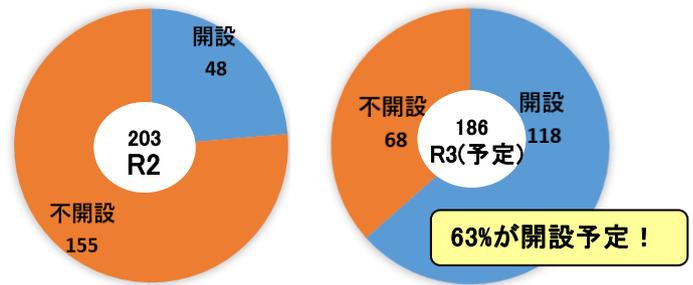


(H29~R2、7、8月の発生状況/人)

遊泳中の海水浴場、海水浴場外事故発生状況(人)



海水浴場開設状況



(R2～R3、7、8月の開設・不開設状況)
(第三管区海上保安本部調べ)

昨年の事件事例

1 小型船舶の事故

【水上オートバイ同士の衝突】

* 速力27ノットで衝突し死亡事故に繋がっていてもおかしくなかった事例

(8月15日発生、乗船者各1名、救命胴衣着用、怪我あり)

事故者A及びBは総勢20名程度で浜を訪れ、それぞれ単独走行にて遊走していたところ衝突し海中転落した。

Aは仲間の水上オートバイに救助され、Bは消防艇により救助されたが、Aは右肩及び後頭部の打撲、Bは頸椎捻挫及び腱板損傷(5週間の入院)を負った。



(天候晴れ、南の風2メートル、波浪0.3メートル、海水温度31.3度)

原因：見張り不十分(お互い見張りをせず勝手な操船により衝突)

【プレジャーボートの機関故障】

* 定期点検や常日頃のメンテナンスを怠った結果、同乗者を巻き込んだ漂流事故を引き起こした事例

(8月22日発生、長さ5.3メートル、2名乗り、救命胴衣着用、怪我なし)

事故者はエンジンを起動させた状態で漂流し釣り中のところ、突如エンジンが停止し再起動しなくなった。事故者は、118番通報し巡視艇により救助された。

予備船外機の使用を試みたが、数か月もの間起動していなかったことから起動せず使えなかった。

(天候晴れ、西北西の風3メートル、波浪0.5メートル、気温30度、海水温度27度、視程良好)

原因：定期点検及び日常点検の未実施(燃料フィルターの目詰まり)



2 マリンレジャーに伴う海浜事故

【遊泳中の帰還不能】

* 未成年が浮具で遊泳中に流され帰還不能となった事例

(8月15日発生、幼児男子、10代女子、けがなし)

事故者(子ども)2名は、家族等7名で海岸に訪れ、父親が浮かべた動物型浮具に乗り遊んでいたが、急に沖に流され始めた。これに気付いた父親が確保に向うも、予想以上の速さで浮具が流されて行き、追いつけない状況となり、その後付近海岸にいたライフセーバーに救助をされた。

(天候晴れ、西の風5メートル、波浪0.5メートル、気温34度、海水温度27度、視程良好)

原因：知識不足(離岸流の存在を知らなかった)



【遊泳中の溺水】

* 未成年が離岸流に流された事例(8月19日発生、10代男子、溺水、死亡)

事故者は、友人4人とともに河口付近で遊泳していたところ、事故者含め3人が離岸流により沖合に流され漂流した。

その後通行人が119番通報。救助機関により捜索を開始。1名は自力で上陸、もう1名は通報者により救助され命に別状なし。残りの1名(事故者)は、県警ヘリにより発見救助され、搬送先の病院で死亡が確認された。

(天候晴れ、南南西の風6メートル、波浪0.5メートル、気温32度、海水温度25度、視程良好)

原因：知識不足(離岸流の存在を知らなかった)



期間中の活動

1 昨年の活動状況



〈小笠原〉警察との海上パトロール



〈横須賀〉ライフセーバーとの砂浜パトロール



〈木更津〉水上オートバイ団体との沿岸部パトロール



〈下田〉遊漁船に対して釣り中の事故防止活動

2 今年の活動予定

実施日	場所	実施内容	実施部署
7月中旬 ～ 9月下旬	館山市所在の海浜 千葉市所在の幕張の浜	館山市主催 うみはま合同パトロール 県職員、警察等との合同パトロール	千葉海上保安部 043-242-1805
7月中旬 ～ 8月下旬	千葉海上保安部管内のマリーナ	海上安全指導員との合同パトロール	千葉海上保安部 043-242-1805
7月下旬	静岡県内ラジオ局	コミュニティFM出演	清水海上保安部 054-355-0225
7月16日 ～ 8月31日	東京都江東区 お台場ダイバーシティ ガンダム横	海の事故・夏生事故ゼロキャンペーン 映像による周知	東京海上保安部 03-5564-2023
7月18日 7月25日	富津岬	海上安全指導員、PWC安全協会との合同安全パトロール	木更津海上保安署 0438-30-0118
7月18日	横浜海上保安部港内	海上安全指導員との合同パトロール	横浜海上保安部 045-201-8180
7月22日	犬吠埼灯台 銚子マリーナ	海上安全指導員と合同パトロール	銚子海上保安部 0479-24-6685
7月22日 ～ 7月25日	下田管内（静岡県に限る）海水浴場	パトロール及び海難防止啓発活動	下田海上保安部 0558-23-0145
7月30日	神奈川県茅ヶ崎市 茅ヶ崎海岸（ヘッドランド付近）	（公）茅ヶ崎市文化・スポーツ振興財団主催 「サーフィン&ボディボード体験教室」における」周知	湘南海上保安署 0466-22-4999
8月上旬	近隣高速道路サービスエリア	サービスエリア利用者に対し、マリネジャーに関する注意事項記載 の海難防止グッズ配布	鹿島海上保安署 0299-90-0050
8月8日	葉山町海岸	葉山町、ライフセーバー、S B、警察署、水教会、マリーナ、漁協、 海上保安部合同による海水浴場マナーアップパトロール	横須賀海上保安部 046-861-8374
期間中毎週		海難発生件数の速報及び事故事例の広報	第三管区海上保安本部 045-211-1118

■海の安全情報

海上保安庁では Web サイト上で、事故防止の注意事項や、気象海象の現況等の提供を行っております。「海の安全情報」で検索し、最新の情報をご確認ください。



海の安全情報はこちら

■ウォーターセーフティガイド

カヌー、SUP（スタンドアップパドル）、ミニボート、水上オートバイや釣りなどのウォーターアクティビティについて、誰もが安全に安心して楽しむために知ってほしい情報をまとめた総合安全情報サイト「ウォーターセーフティガイド」が海上保安庁HPに開設されました。是非ご覧ください。



ウォーターセーフティガイド
はこちら

■海しる

「海洋状況表示システム」（海しる）は、“海の今を知るために”さまざまな海洋情報を集約し、地図上で重ね合わせ表示できる情報サービスです。日本の周辺海域のみならず、衛星情報を含む広域の情報を掲載するとともに、気象・海象のようなリアルタイムの情報も掲載しています。



海しるはこちら

■東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会

海の安全に係るお知らせ

東京港内においては、海域利用者による自主航行ルールが設定されています。

また、海難防止・海上警備へのご理解、ご協力をお願いいたします。

各競技の開催期間及び競技エリアの詳細については Web サイトで紹介しています。



オリンピック海の安全
はこちら